

冬号

発行：2021年12月
中浦和眼科医院中浦和眼科医院
Nakaurawa Ophthalmology

院内新聞



新年、明けましておめでとうございます。
平素はご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。
2022年も、院長はじめスタッフ一同皆様の眼の健康を全力でサポートさせて頂ければと願っております。
本年もどうか宜しく願い申し上げます。

白内障手術についての患者様からの疑問？

Q 日帰り入院ではどちらが良いですか？

A 手術自体は、同じですが通院することが大変という方や心臓などの持病が気になって心配という方は、入院施設のある所をお選びになっています。通院は特に問題ないという方は、日帰りの手術後ご自宅で安静にして次の日来院して頂き眼帯を外す流れになっています。(当院は日帰りのみとなっております。)

Q 白内障と診断されて、どのタイミングで手術を受けたら良いですか？

A ご自身で生活していてご不便を感じ始めたらお考え頂くと思います。
その他、免許更新等早めに手術をお考えになる方や体が自由に動ける時にしてしまいたいとお考えの方等それぞれのタイミングがあるかと思えます。

Q 白内障手術を受けたら眼鏡はいらないのですか？

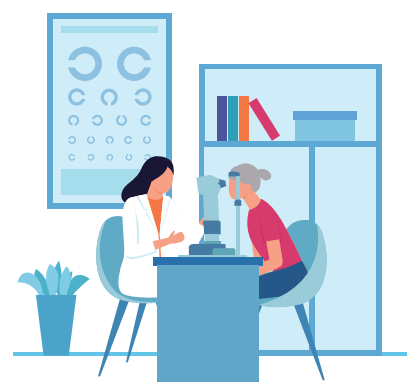
A 個人差はありますが、まったく眼鏡がいなくなったという方もいらっしゃいますが基本的には、手元に合わせて単焦点を選んだ患者様は遠くを見る眼鏡が必要になってきます。その逆で遠方重視のレンズを選んだ患者様は、老眼鏡が必要となってきます。手術後眼鏡の使用頻度をなるべく下げたい方には、多焦点をお勧めします。
ただ、多焦点も全ての眼鏡が不要になるという事ではありません。

Q 白内障手術って痛いのですか？

A 白内障手術の麻酔は基本点眼薬となります。どうしても手術中緊張から眼が動いてしまう方には、注射で麻酔を追加する場合もございます。個人差はありますが基本的には痛みはありません。

Q 緑内障でもあり白内障でもあります。まずは白内障手術を受けた方が良いでしょうか？

A 白内障により生活に支障が出ているようでしたら、緑内障の眼圧や視野が安定しているのを確認して白内障手術をすすめる事があります。術後白内障の影響を受けていない視野検査を受ける事で緑内障の進行が正確にわかるようになります。それは、白内障によるコントラスト低下によって視野に影響がある事も考えられる為です。



お知らせ

1) 代診日

2022年2月15日 火曜日 終日代診となります。

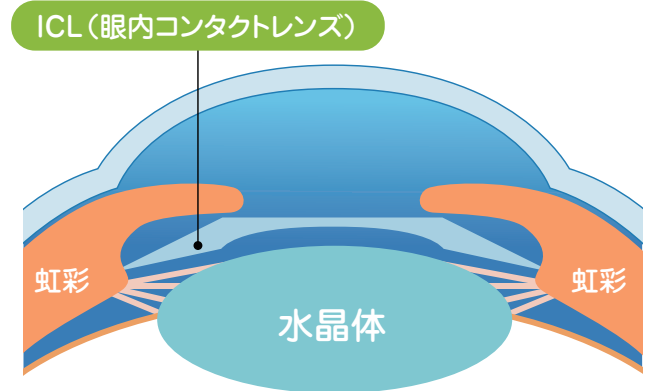
予約について：ネットからもご予約可能ですし、お電話でもご予約承ります。





ICL視力矯正手術について

ICLとは、レーシックとは異なり角膜を削らない手術となります。角膜の下の虹彩と水晶体の間に柔らかい合成樹脂製のコンタクトレンズを挿入する近視矯正手術です。当グループの手術担当 理事長 信田が以前よりグループ内でこちらの手術を行ってきました。この度2022年1月から中浦和眼科でもICLを導入する事と致しました。



ICLのメリットとは？

- ・眼の中にいれたレンズは、長期にわたり透明な状態を維持しお手入れ不要となります。
- ・幅広いレンズバリエーションの為、近視強度の方に対応したレンズパワーがあり対応可能となります。
- ・レンズを挿入した後の近視や乱視の戻りがレーシックに比べて少ないと言われています。
- ・将来白内障等の眼の病気になっても、レンズを取り出せますので治療の選択肢が狭まる事はありません。

ICLのデメリット

- ・手術適応年齢があります。 21歳～45歳
- ・公的医療保険の対象ではありませんので、手術費用が自費となり高額となります。
- ・外科的手術と同様ですので、術後の感染症や合併症のリスクはあります。
- ・ハローグレアと呼ばれる、夜間の光のにじみや眩しさを自覚する事があります。これは個人差があります。

手術費用 ※自費診療となります。

両眼(術前検査 + 手術費用 + 術後診察・検査費用) 合計 ¥640,000 から

上記の手術を導入した背景としては、患者様の眼に対するご要望に応じる選択肢を少しでも広げていければと考え始める事に致しました。もしご興味や気になる事がございましたら遠慮なくお問合せ頂けたらと思います。

☎ 048-838-8815

🌐 <https://nakaurawa-ganka.jp>